

UコラムBCR・日鐵デッキプレート法令適合表

部位	工法	商品名	記号	構造関連規定				防耐火関連規定	
				建築材料 (法37条)	構造方法 (令36条)	構造計算 (令81条)	使用上の支障 (令82条4号)	構造方法	
								告示仕様	大臣認定
柱	—	UコラムBCR	BCR295	法第37条第1項第二号による大臣認定	—	H19告592号 H19告593号 H19告594号	—	—	耐火被覆 *1
床	合成スラブ	スーパーEデッキ	EZ50・EZ75	H12告1446号 第1第一号-JIS G3352(デッキプレート)-2003	令77条の2 (床版の構造)	「デッキプレート床 構造設計・施工 規準-2004」 による	H12告1459号 および H19告621号	—	認定構造 (別紙参照) もしくは 耐火被覆 *1
		Eデッキ	EV50						
		ハイパーデッキ	HYPER						
	一方方向性スラブ	スーパーEデッキ メンブレン	EZ50						
		デッキプレート	V50A UKA						
	構造スラブ	スーパーEデッキ	EZ50・EZ75						
		Eデッキ	EV50						
		ハイパーデッキ	HYPER						
デッキプレート	V50・V50A・ UA・UA-N・ UKA・UKA-N・ SP・KP-1								
屋根	金属下地 外断熱防水 シート工法	ニッテツ ルーフデッキ	UA-R	H12告1446号 第1第一号-JIS G3352(デッキプレート)-2003	H14告326号 および H19告606号 (デッキプレート版)	「デッキプレート床 構造設計・施工 規準-2004」 による	—	H12告1365号	認定構造 (別紙参照)
			EZ50						
			EZ75						
			HYPER						
	屋根スラブ	全て	全て						

※1 吹付けロックウール工法(ロックウール工業会HPより)

■吹付けロックウール被覆耐火構造

認定番号	耐火時間	部位	比重	厚さ(mm)
FP060CN-9460	1時間	柱	0.28以上	25
FP120CN-9463	2時間			45
FP180CN-9466	3時間			65
FP060FL-9128	1時間	床	0.30以上	15
FP120FL-9129	2時間			20
FP030RF-9324	30分	屋根		10

■デッキプレート床版に適用する場合

構造名	鉄板の厚さ	床板の厚さ
デッキプレート	1.2mm以上	40mm以上
キーストンプレート	0.8mm以上	40mm以上

耐火性能	吹付け厚さ	比重(絶乾)
1時間	15mm以上	0.3以上
2時間	20mm以上	0.3以上

大臣認定およびBCJ評定

部位	認定等	商品名	番号	件名	根拠法令
柱梁 接合	日本建築セン ター構造評定	NDコア (ノンダイアコア)	BCJ評定-ST0160-01 および CBL SS004-10	角型鋼管柱・H形鋼梁用NDコア柱梁接合法	
柱	大臣認定 (F値指定)	UコラムBCR 角パイプBCR	MSTL-0188および MSTL-0189 ^{(*)1}	建築用冷間ロール成形角形鋼管「UコラムBCR」 (F値:295 N/mm ²)	法37条第二号 H12告2464号
床	日本建築セン ター構造評定	EZ50 EZ75 EV50	BCJ評定-ST0076-01 ^{(*)2}	合成スラブ構造(日鐵Eデッキフロア・EZシリーズおよびEシリーズ)	H14告326号
			BCJ評定-ST0076-02 ^{(*)2}	合成スラブ構造(日鐵Eデッキフロア)の一部形状変更及び 材料追加	〃
			BCJ評定-ST0076-03 ^{(*)2}	合成スラブ構造(日鐵Eデッキフロア・EZシリーズおよびEシリーズ)	〃
			BCJ評定-ST0076-04 ^{(*)2}	合成スラブ構造(日鐵Eデッキフロア・EZシリーズおよびEシリーズ)	〃
		HYPER	BCJ評定-ST0113-01	合成スラブ構造(日鐵Eデッキフロア・EZ120)	〃
			BCJ評定-ST0113-02	デッキ合成スラブ(ニッテツ ハイパーデッキ)	〃
床 型枠	(社)公共 建築協会	セーフティ フラット	評価第941- 00100607号	床型枠用鋼製デッキプレート	建築材料・設 備等品質評価

*1 UコラムBCR(200×200以上)については、旧認定番号(MSTL-9021)も有効です。

*2 04は、01～03の内容を含んでおり、確認申請図書への添付は、04のみで結構です。01～03は必要に応じてお使い下さい。

日鐵デッキプレート 耐火構造認定一覧

耐火区分	認定番号	認定条件											
		使用条件			断面仕様				梁との接合			備考	
		支持条件	許容スパン (*1)	平米当許容荷重 (*2)	デッキプレート	山上コン厚 普通 軽量	上端筋 (*3)	溝筋	頭付スタッド	焼抜き 栓溶接	発射 びょう		
耐火床 2時間 FP120FL-	9108	連続	2.7m	式1	EZ50	95	85	A	-	○	○	○	()
			3.4m	式2	EZ75	90	85	A		○	○	○	
			3.6m	5.40kN		95	90	C		○	(*)4	(*)4	
			2.7m	3.50kN	EV50	100	90	A(B)		○	○	○	
	9114	単純	2.7m	式1	EZ50	95	85	A	(*)5	○	○	○	RC納まり(*)6
			3.4m	式2	EZ75	90	85	A		○	○	○	RC納まり(*)6
	0103	連続・単純	2.5m	6.00kN	EZ75	90	-	A	-	○	○	-	
	0050	連続	2.55m	18.5kN	HYPER	80	-	A	-	○	-	-	
			3.5m	8.20kN									
			4.5m	3.70kN									
	0106	連続	2.8m	14.7kN	HYPER	80	-	B	(*)5	○	○	○	
			3.6m	7.50kN									
	0033	単純	常温時の設計による		HYPER	80	-	B	(*)5	○	○	○	
	0081	連続	3.2m	7.59kN	HYPER	-	75	A	-	○	-	-	
3.6m			6.00kN										
0088	単純	3.6m	6.00kN	HYPER	-	75	B	(*)5	○	-	-		
0012	連続・単純	常温時の設計による		Uka	80	-	B	D13以上	○	○	○	溝筋かぶり60mm	
9015					-	80	B	D13以上	○	○	○	溝筋かぶり55mm	
耐火床 1時間 FP060FL-	0066	連続・単純	3.0m	3.50kN	EZ50 (1.0以上)	80	-	B	-	○	○	○	「Fc18」適用不可
	0079		2.7m	5.40kN						○	○	○	
	0104		2.5m	7.00kN						○	-	-	
	0073		3.4m	3.50kN						○	-	-	
	0078		3.0m	5.40kN						EZ75 (1.0以上)	○	○	-
	9096	連続	3.0m	式1	EZ50	80	80	B	-	○	○	○	
			3.4m	式2	EZ75	80	80			○	○	○	
			3.6m	4.40kN		90	-			A	○	(*)4	(*)4
	9102	単純	2.7m	式1	EZ50	80	80	B	(*)5	○	○	○	RC納まり(*)6
			3.4m	式2	EZ75	80	80			○	○	○	RC納まり(*)6
			2.5m	2.90kN	EV50	80	-			D	-	○	○
	0031	連続	常温時の設計による		HYPER	60	-	B	-	○	○	○	
0032	単純	常温時の設計による		HYPER	60	-	B	(*)5	○	○	○		
0005	連続・単純	2.8m	3.48kN	EZ50	70	-	B	-	○	○	○	メンブレン(天井付き)工法(*)7	
0006		2.8m	2.16kN		60	-			○	○	○		
0090	連続・単純	2.5m	3.50kN	EZ50	60	-	B	-	○	○	○	Eco60	
準耐火床 45分	QF045FL-0007	連続・単純	2.4m	2.40kN	EV50	50	-	B	-	○	○	-	
耐火 屋根30分 FP030RF-	0161	連続・単純	3.8m	-	UA-R	-	-	-	-	-	-	-	非歩行屋根のみ
	0053	連続・単純	3.2m	-	EZ50	-	-	-	-	-	-	-	〃
	0036	単純	3.2m	-	EZ75	-	-	-	-	-	-	-	〃
	0103	連続	5.0m	-	EZ75	-	-	-	-	-	-	-	〃
	0123	連続・単純	5.0m	-	HYPER	-	-	-	-	-	-	-	〃

*1 許容スパンは、鉄骨梁の場合はその間距離、RC梁の場合は梁の内法寸法として下さい。施工時の許容スパンについて別途ご確認ください。

*2 式1, 2は下表を参照ください。許容荷重はスラブ自重(デッキプレート+コンクリート+鉄筋)を差し引いた値です。

式1	$W = 5.4 \times (2.7/L)^2$	式中の【W】は許容荷重 (kN/m ²)。【L】は支持スパン (m) を表す。
式2	$W = 5.4 \times (3.4/L)^2$	また、Wが9.8を超える場合はW=9.8とする。

*3 表中各記号は次の仕様を表します。また、鉄筋比は0.2%以上とする必要がありますので、増し打ちをする場合にはご注意ください。

A	φ6-100×100またはD10-200×200	C	D10-200×200
B	φ6-150×150またはD10-200×200	D	φ6-150×150の二段配筋

*4 スパン3.4m以上の場合は梁との接合方法を頭付スタッド(径16mm以上、ピッチ300mm以下)として下さい。

*5 耐火補強筋(D13)をデッキプレートの各谷にかぶり40mm(HYPERの場合は45mm)で配してください。(下図左参照)

*6 RC納まりの場合は、デッキプレートの梁への飲み込み代を30mm以上として下さい。端部補強筋(D13以上、L=1m)を梁への定着長さ150mmで配してください。ただし、耐火補強筋(※5)を用いる場合は端部補強筋は不要です。(下図中央参照) RC, SRC造は普通コンクリートのみ適用できます。

*7 天井付き合成スラブの耐火認定工法です。本認定の適用には下図に示すように天井があることが必須条件です。(下図右参照)

